IAMASカリキュラムマップ（博士前期課程）

科目とディプロマポリシー（学位授与方針）3項目の対応。出典：*2026*年度公開シラバス（*www.iamas.ac.jp/disclosure/*）

【凡例】◎主担当（CPがその区分の設置目的として明記する能力） ○関連（シラバスのねらい・到達目標に対応する文言が明確にある）

科目区分	科目名	単位	学期・対象	DP① 専門性・自立した表現者	DP② 倫理性・社会応答	DP③ 領域横断・新しい知	判定根拠（シラバス「ねらい・到達目標」の文言）
導入	メディア表現基礎1（導入）	2	1年前期（4月）	◎		○	「横断的・学際的な知と実践力」「社会との関わりを意識」「対話を通して互いの差異や共通点を見出す」
導入	メディア表現基礎2（理解）	2	1年前期（4月）	◎		○	「多分野の多様な専任教員全員の…紹介」「異なる分野の人達とコラボレーションをする際の心構え」
導入	メディア表現基礎3（制作）	2	1年前期（4月）	◎		○	「多様な分野からなる学生、教員が…共同して取り組む」「協働による制作」
導入	メディア表現基礎4（計画）	2	1年前期（5月）	◎		○	「言語化、調査方法、プレゼンテーション」「他者（他分野、多領域の専門家）と議論ができる計画書」
綜合	綜合学1（総論）	2	1年前期（6・7月）	○	◎		「芸術論・技術論・メディア論…理論的枠組み」「自身の研究のコンテクストを明らかにする」
綜合	綜合学2（展開）	2	1年後期(10・11月)	○	◎		「ジェンダー論」「身体とアート」「生命とアート」等、批評的主題群
綜合	綜合学3（各論）	2	1年後期(12・1月)	○	◎		「人類学とアート」「エコロジー」「〈個〉と〈公〉とアート」等、領域横断的各論
専門	メディア表現特論A（環境）	2	後期(9〜11月)・1/2年	◎	○		「メディア表現やメディア技術のもつ意味や可能性を改めて検討」「常に批判的な思考をもって参加」
専門	メディア表現特論B（応答）	2	後期(10・11月)・1/2年	◎	○		「研究動向と各自の研究」「研究としての評価について考えられる研究の姿勢」
専門	メディア表現特論C（概念）	2	後期(12・2月)・1/2年	◎	○		「生命、身体、バイオメディアの概念」「アート、テクノロジー、哲学などと社会との関係を考察」
専門	メディア表現特論D（造形）	2	後期(12・1月)・1/2年	◎	○		「作品を解釈する能力を養い、創作する力を高める」
専門	メディア表現特論E（設計）	2	後期(12・1月)・1/2年	◎	○		「デザインと社会、持続可能性や倫理的課題との関係性」「役割や責任」
演習	制作基礎	2	1年前期	◎	○		「実践的なスキルの修得」「専門性に自足することのない複眼的な視野」 ※DP③（複眼的な視野）にも根拠あり —— 印を2つに絞る表記ルールにより区分内で統一
演習	制作演習A（設計）	2	1年前期（6・7月）	◎	○		「フィールドリサーチ、課題設定、プロトタイピング、検証」「デザインによる行動変容」
演習	制作演習B（技術）	2	1年前期（6・7月）	◎	○		「技術…ハンズオン」「その技術が社会へどのような影響があるのか」
演習	制作演習C（造形）	2	1年後期(10・11月)	◎	○		「媒体や表現形式…潜在する可能性を引き出して…実践的に探求」 ※DP③（新しい表現形式の探求）にも根拠あり —— 同上
演習	制作演習D（展示）	2	1年前期（8月集中）	◎	○		「展示設営の基礎から実践まで」
演習	制作演習E（展示）	2	2年前期（8月集中）	◎	○		「展示設営の基礎から実践まで」
プロジェクト	プロジェクト実習1A	2	1年前期		○	◎	
プロジェクト	プロジェクト実習1B	2	1年後期		○	◎	
プロジェクト	プロジェクト実習1Ai	2	短期1年前期		○	◎	
プロジェクト	プロジェクト実習1Bi	2	短期1年後期		○	◎	
プロジェクト	プロジェクト実習2A	2	2年前期		○	◎	
プロジェクト	プロジェクト実習2B	2	2年後期		○	◎	（6科目共通）「複数の学問領域の知見や経験を効果的に統合」「領域横断的に運営」「社会へ向けた成果の発信や連携」「異分野とのコミュニケーション能力」 ※DP①（研究遂行）にも根拠あるが、◎はDP③・○はDP②（社会へ向けた成果の発信や連携）に統一
研究	特別研究1A	1	1年前期	◎	◎	◎	
研究	特別研究1B	1	1年後期	◎	◎	◎	
研究	特別研究1Ai	3	短期1年前期	◎	◎	◎	
研究	特別研究1Bi	3	短期1年後期	◎	◎	◎	
研究	特別研究2A	2	2年前期	◎	◎	◎	
研究	特別研究2B	2	2年後期	◎	◎	◎	（6科目共通）「修士研究を遂行する能力」「研究の深化と社会との接続」「専門分野以外の複数の教員に…説明…研究の客観性」（特別面談）
◎主担当数				**21**	**9**	**12**	